


東京光の家 創立八五周年記念
正秋バンドチャリティーコンサート

愛のサウンドフェスティバル

社会福祉法人 東京光の家 創立85周年記念
正秋バンドチャリティーコンサート

愛のサウンドフェスティバル



日時：平成一六年九月一日(土) 一五時〇〇分開演
会場：アミューたちかわ(立川市市民会館) 大ホール
(JR中央線立川駅又は、南武線西国立駅下車)
福祉協力券：二、〇〇〇円
司会：高田敏江 ゲスト：佐々木信也
お問い合わせ先 主催：東京光の家 TEL：〇四二(五八)二三四〇
◎収益金の一部をチャリティーとして、(財)日本失明予防協会にささやかです
◎この音楽会は東京光の家創立八五周年記念事業として開催するものです。

【日時】平成一六年 9月1日(土)
【開演】14:00 (開演) 15:00
【会場】アミューたちかわ(立川市市民会館)大ホール
TEL 042-588-1311(代) 立川駅南口より徒歩約1分
福祉協力券 ¥2,000 【主催】社会福祉法人東京光の家 【共催】光の家愛のサウンドフェスティバル
【問い合わせ先】東京光の家
〒191-0055 日野市藤が丘1-17-17 社会福祉法人東京光の家 TEL:042-581-2340 <http://www.hikarinoie.org/> E-mail:info@hikarinoie.org

光の家

LIGHT HOUSE WITH THE BLIND
視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報
— 128号 —
2004年7月25日発行

あなたがたは、主にあってい
つも喜びなさい。繰り返して言
うが、喜びなさい。あなたがた
の寛容を、みんなの人に示しな
さい。主は近い。何事も思い煩
ってはならない。ただ、事ごと
に、感謝をもって祈と願いとを
ささげ、あなたがたの求めると
ころを神に申し上げるがよい。
ピリピ人への手紙

第四章 四節〜六節



いざ外房の海へ〜神愛園2泊旅行

巻頭言
どうしたら社会道德の向上が可能か
理事長 田中亮治

① 昨今の日本社会の状況を見て感じるのだが、これ程教育が社会の隅々にまで行き渡り、文盲者(もんもう)が皆無と言われる時代にあつて、どうしてこんなにも非道德的な事件が日増しに多く発生するのだろうか。この事を慨嘆せざる人など皆無なのではないだろうか。少しく国を思い、社会の在り方を気になさる人なら、今の状況をして”このままでは人心が益々乱れ、国家・社会が成りたたなくなるのではないか”と憂慮されるかと思ふ。

では、昨今の社会道德が地に墜ちた主因は何だったのか。経済状況が悪化し、人々の生活が貧しくなつたためだろうか。いや、経済大国と言われる日本国である。豊かさは世界一だと言われる。だから、これではなさそうである。それなら教育の貧困だろうか。これ又、”ノー”と言わなければならない。という

日時：平成一六年九月一日(土) 一五時〇〇分開演
会場：アミューたちかわ(立川市市民会館) 大ホール
(JR中央線立川駅又は、南武線西国立駅下車)
福祉協力券：二、〇〇〇円
司会：高田敏江 ゲスト：佐々木信也
お問い合わせ先 主催：東京光の家 TEL：〇四二(五八)二三四〇
◎収益金の一部をチャリティーとして、(財)日本失明予防協会にささやかです
◎この音楽会は東京光の家創立八五周年記念事業として開催するものです。

第二七回
東京光の家
チャリティーバザーに
物品提供を!

東京光の家のチャリティーバザーに多くの皆様のご協力を
お願いいたします。

◎開催日：二〇月二日(月)
体育の日 一〇時より

◎会場：東京光の家

◎提供品についての希望：
日用品・おもちゃ・文具・
雑貨品・食器・食品・衣料
品(新品同様のもの)・古
本・CD等

◎お断りしているもの：
家具・洗濯機や冷蔵庫のよ
うな電気製品・中古の電気
製品・布団等

◎提供受付期間：
九月末頃まで(多摩地区は、
ご連絡頂ければ回収にお伺い
いたします。)

※尚、当日にお手伝いをして
いただいたボランティアも
募集しています。

あとがき
拉致被害者の曾我ひとみさん。日本に戻ってきたが、家族と一緒に暮らすことができず、やつと一年九カ月ぶりで再会をはたすことができた。新潟の町を歩いていたところ、突然拉致されたもの、今でも何人もの日本人がまだ行方不明のままであるという。ジャカルタ郊外のスカルノ・ハッタ空港で、北朝鮮から到着した夫のジェンキンスさんと感動的な再会、ながい間待ち焦がれていた一家、是非幸福な生活をとりもどして欲しい。久しぶりの明るい話題に接することができた。

暑い夏がやってきました。会報一二八号をお届けします。
(N・T)

発行 千一九一〇〇六五
東京都日野市旭が丘二一七二七
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八)二三四〇
FAX 〇四二(五八)九五六八

会報 五言

一、人は天使にも、サタン(悪魔)にもなる。同じ一つの口から聖なる愛の言も出るが、汚い憎しみの言も出る。

一、施設周辺の街並に「誠」と書かれた幟(ぼし)が林立。新撰組ゆかりの地日野市ならではの風景。

一、「誠」に生きる風潮に欠けるのが今の社会の実態。これが諸悪の根源か。

一、誠実に生きたい。どうすればそれが可能か。単なる道徳教育では不可。新渡戸稲造著「武士道」「修養」等の普及を執望する。

一、誠実に生きた方に近づき、その方に学ぶ以外になし。その最高峰は、人間を越えたある方でなければならぬ。

のは、教育制度が社会の隅々まで完璧なまでに行きわたっている国である。むしろ教育過剰なまでの国情である。普通の常識なら社会道徳が向上しているはずではないか。従って道徳の乱れの主因を「教育にあり」とするのでも少々無理のような気がする。それなら家庭教育や躾等の在り方に問題があるだろうか。全く無いとは言わないが主因とは言いがたいような気がする。

とは至難の業である。私はこの方面の専門家でもなく、ただ一人の日本人として、この日本国の在りように強い関心を持つ。小市民に過ぎない。その立場で私なりに日頃考えている事を申し上げてみたい。

道徳が地に墜ちる主因は、人々の多くが「尊ぶべきものを尊ばず、畏るべきものを畏れなくなった」ことにある、と私は思う。

まことにこの問題は曰く、言い難いである。皮相的になるが教育の中身の問題にもあるだろうし、家庭の崩壊状況の増加にもその一因があるだろう。又、社会構造全般にもあり、物質万能の風潮がもとで自己中心になったことにもよるだろう。しかし、このような言い方では、問題の根源を抉ることにはならない。

尊ぶべきものは真理であり、真実である。畏るべきものは神である。これが無くなった時、人間社会に蔓延するのが、虚偽であり、自己中心的我利我利主義である。この結果、あらゆる分野において無責任さと自己保身(自己利益の確保)の人が目立ち、善のために他者に仕える精神が軽視されるようになる。これでは、折角標榜されている平等と共生の社会の実現も夢の又夢で終わるのではあるまいか。若者たちが、真面目に生き

ようとす情熱まで削ぐこととなるであろう。自己の命を守るために、他者の命でさえ平気で害う。自己の利のために、他者の利益など平気で踏み躪る。かくして巾をきかすのは、早い者勝ちで利を得る俗物的我利我利亡者輩である。

しかし、世の中は決してそのような亡者ばかりではない。私どもの施設には、年間延べ二〇〇〇名程のボランティアの善意の方々が、障害者のために自己犠牲を厭わないでご奉仕下さっている。頭が下がる思いだけでなく、生きる希望と勇気とを与えられている。

共生と平和な社会を維持するのは、このような目立たない陰の支え手たちではないかと思われてならない。ともあれ、社会を構成する私たち一人ひとりが虚偽を憎み、真実を求めて真面目に生きることが、社会道徳を高める最良の道だと考えるが、いかがなものだろうか。

一稀少難病家族と光の家

鳥羽勝

現在、私はハンチントン病という遺伝性神経難病の妻を在宅介護しております。二年前、この過酷な病気に押しつぶされていた頃、私たちは田中理事長より光の家のコンサートにお招きいただいたのでした。それは神さまのお導きでした。初めて耳にする正秋バンドは、閉ざさ

れていた私たちの心を大きく解放してくれました。一生懸命演奏してくれるナインのサウンドから、重い障害にもめげず一杯生きている彼らの前向きな姿勢が大波のように伝わってきた、病気の妻も夫も支援者も感動一杯の拍手を贈らずにはおられませんでした。同時に、舞台の背後で演奏者の目となり手足となつて、こま鼠のように働いておられる職員の方々の黒子姿に深い敬意を覚えました。

その後、私は田中理事長のお許しをいただいて、毎月一回、相澤忠一先生がお話下さっている日曜聖書集会で、園生とご一緒させていただけることになりました。毎回光の家で聖書を学び園生と接すること、私の魂は清々と洗い清められるように

なつてまいりました。光の家におじゃまする時いつも思いますのは、HD家族にも光の家のような施設があつたらどんなにいいだろう、ということとであります。HD患者の場合、彼らを専門に看ってくれる病院や施設が今のところ日本には全くありません。かといって在宅で患者をケアしようにも、この病の厳しい症状ではどうしようもなく、介護すべき家族は患者と向き合うことがどうしても出来ないでいるからです。ところが幸いにも私たちは光の家と出会い、光の家との交流を与えられたことよつてこの病気と向き合う勇氣を得ました。そして



神は愛なり 鳥羽勝様ご夫妻

地域の人たちと手をつなぎ、多摩市役所・南多摩保健所・都立府中病院・地元の見聞診療医と連携して、全国的にも珍しい、病気の妻のためのHD地域ケアチームを立ち上げることが出来たのでした。

先日、光の家日曜聖書集會に

おいて私は、理事長、園生、職員の方々の前で、ハンチントン病と向き合うまでの証をさせていただきますました。話の内容は深刻なものでしたが、園生の皆様は私の妻の苦しみも悲しみも何もかも分かつて下さつたように感じられました。病気が違え、障害を負いながら妻の痛みを共有してくださる園生に、私は妻に代つて「有難う」と申し上げます。私は園生を慰めようとしてかえつて彼らから慰めを与えられ、幸せのありかを求めて園生から本当の幸せはどこにあるのかを教えられたのでした。障害を素直に受け入れて、お互いの弱さを補い合つて、共に生きていくところが光の家で、そこには確かに本当の幸せが宿つていると思ひます。人間として、一番大切なものを宿している光の家は、いまだには私たちにとつて、神さまから贈られた、なくてはならない大切な施設です。

生活リズムを変えるのは難しい

夕食時間が六時になりました。と聞き、職員側の勤務体制の事ばかり考えてしまった私は実に浅はかでした。利用者の皆さんの生活には実に多くの影響があったのです。



夕食時間が変更され、ゆったりとした1日になる

神愛園の利用者の方々は、就寝が早い方が多いのです。人間は誰しも、加齢と共に早寝早起きになっていくとよく言われま

すが、神愛園の皆さんは、早い方では、夕食後には早くも寝巻に着替え、就寝してしまう方も少なくありません。そんな神愛園では、夕食がこれまでより三〇分遅くなった事に対する反応より、むしろ、寝しな薬の投薬時間が三〇分遅くなった事に対する反応の方が顕著でありました。寝しな薬というのは、就寝前に服用するのではなく、夕食の二時間後に服用、という基準があるもので、寝しな薬だけこれまで通りの時間に：という訳にもいかず、導入当初の現場では、早く寝しな薬を服用して就寝したい利用者や、食事時間の変更と共に寝しな薬の投薬時間も変更になった事を繰り返して説明する職員、という場面が毎晩のように見られました。一見アメリカが目立つよう

ではありませんが、六時夕食と、それに伴って始まった土曜日、日曜日の起床時間変更のメリックトも多数ありました。

私たちの多くがそうであるように、平日と休日の朝の過ごし方が違うことで、一週間の生活にメリハリがつく、というものから、意外な反応では、大相撲が結びの一番まで見られるようになった。笑点の大喜利が最後まで見られるようになったなど、テレビ番組との関係があがって

(神愛園指導課 草間 樹)

施術&あたたかい

盲人ホーム 光の家鍼灸マッサージホーム

私がマッサージホームに就職したのは、平成二年の四月でした。世の中も景気がよく患者さんもとても多い頃でした。その当時は今のように選べる三コースを設けて行っていました。七〇分治療で三、五〇〇円のみでした。何人かの患者さんから「時間の延長をしていただけると助かるんだけど」

最近ではサービスマン券を発行したところ、毎月一日のサービスマン以外の日でも割引が利くようになり、とても好評です。

スタッフも患者さんも随分替わりました。このホームを足がかりに自立開業をしている先輩や同僚も何人もいます。私も後に続くべく毎日頑張っています。私たちスタッフは真心のこもった治療とサービスマンでみなさまの疲れを癒します。是非当ホームをご利用下さい。お待ちしております。

(マッサージ師 中島和子)



元気はつらつの中島さん

三四年間の光の家での生活

保護者会顧問 山田善二郎



和彦が『光の家』のお世話になつてから、三四年の歳月が経過した。入所した当初は、身の回りの処理すらできなかった彼が、しばらくすると、衣類の洗濯まで自力でできるようになった。やがて『訓練施設』から『授産施設』に移り、いろいろ作業をして一定の収入を得るところまで成長した。それは私たち肉親にとって驚きであり、感謝の言葉もないほどの喜びだった。

その和彦は、いまは自力で行えないほど衰弱しながらも、『生活施設』の職員の皆さまの親身も及ばぬ暖かい介護と援助

に包まれて、楽しく日々の生活をいそいでいる。

生後まもなく母と死別し、幼時に病を患い視力と知能に後遺症を残し、両親の面影も知らない和彦は、「不幸」な人生の持ち主だといえよう。

だが、『訓練施設』で人間として成長し、『授産施設』では給料を貰うことができ、体力が衰えた今は、『生活施設』で職員さんの心もった支えを受けながら生活している彼は、この上ない「幸せな人生」を享受していると言っているのではないだろうか。ここでの和彦の生活は、

手洗いは清潔への道

食中毒なんて自分の生活の中では、あまり考えた事も無いと言う人は意外と多いのではない

『光の家』がつねに障害者のために力を注ぎ、関係者に大きな喜びと希望を与えている事を、偽りのない事実で証している。かつて障害者施設を視察した石原東京都知事は、「この人たちに人間の尊厳はあるのか」と言い、在宅介護を強調するあまり、障害者福祉施設「無用論」と思われる、ある県知事の発言が報道された。福祉施設が、あたたかも営利目的で運営しているのかごとき論説もあるという。こうした発言は、福祉施設の真実の姿に目をむけず、年とともに後退している今日の福祉政策の下で、障害者のために己を無にしている人びとの心を傷つけ、福祉の充実を願う世論に冷水を浴びせる言葉だ、と思うのである。

でしようか。私達の生活環境が衛生的になり、冷暖房が完備され、快適ともいえる生活が送れ

利用者と一緒に楽しむひととき ボランティア 森田 洋子

一四年ぶりの光の家、緊張しつつ訪ねた本館玄関が昔のままだったことに少し安堵したのを覚えています。もう二年前のことになりました。

旭が丘更生園（現・栄光園）の職員として一〇年程勤務、出産を機に退職したのですが、子どもたちが中学生ともなると急に私が一人で過ごす時間が多くなりました。

今、新生園の手芸室で若い？園生さんたちの会話を耳を傾けながら、また職員の方たちの指導の仕方に感心しながらお手伝いをさせていただいております。

たった週一回午前中のみ、短時間にもかかわらず雑用でたびたびお休みする有様。園生さんからは「お久しぶり！」と声をかけられる始末なのですが、「細くても長く続けて」とのお言葉に甘え、お役には立ちませんがこれからも光の家で楽しいひとときを過ごさせていただければと思っております。



森田ボランティアのお手伝いを受けて仕事にげむ

る様になった今でも食中毒は減少していないのが現状です。食中毒は夏場だけではなく年間を通して気が抜けないものですが、湿気が多い梅雨時や夏は特に油断が出来ません。原因は目に見えない細菌なのです。手洗いは大きな力があります。手洗いの基本をきちんと身につけ実践する事が病気予防の百人力となるのです。食事課では業務前に、衛生的な身繕いから、体調も毎日チェックしあい、優れない場合は調理から外れる場合もあります。食材も吟味され、より新鮮で安全なものが使用されます。食中毒の脅威から守ることは施設内で最も気を使っているセクションであると思います。

感染対策では手洗いは大変重要な役割を果たしている事は周知している事なのですが、「面倒くさい」「忙しくて忘れてしまった」「手洗いの場が遠い」など手洗いを怠っている事もあるかもしれません。たかが手洗い、されど手洗いなのです。

このような状況をよしとせず必要な時に確実に、実践出来る事、また一人ひとりが、手洗いを必ず実践しようとする意識が大事なことです。施設職員としてプロ意識を持ちたいものです。又、最近では排泄処理介助も多くなり、アルコール手指消毒剤の使用を取り入れました。

手洗いから始まり、手洗いで終わる一日で、安心で安全な生活が保たれるのです。

（医務課主任 古川あや子）



人事院介護等実地体験研修

平成一六年五月三一日からの五日間、人事院より男女六名の方々が介護等実地研修のために東京光の家を訪れ、栄光園、新生園、神愛園にて授産作業体験や生活・体育・作業訓練、サークル活動や配膳業務等を研修されました。また、各施設においての研修後には意見交換が行われ、率直な感想や意見がたくさ

ん聞かれました。六名の方々の感想や意見は様々でしたが、感想文を書いて頂いた中からいくつか紹介したいと思います。

◆国土交通省 木村よし子

「今回、自分がさせて頂いた体験のひとつは「自分が」視覚を失った状態で何をするかという事である。アイマスクを付けての手芸、陶芸、体育訓練の体験を経て、視覚を失った状態がいかに不安なものか、声を掛けてもらったり、手助けをしてもらうことのありがたさを感じることが出来た。ふたつめは障害者に「対して」接していくというものである。授産作業の手伝い、体育訓練への参加、配膳業務や散歩などの体験において、職員の方々による園生一人一人に対してのきめ細かい対応



普段の仕事とは勝手が違い、真剣な眼差しで作業に取り組む

◆環境省 増田正悟
自分が新聞や雑誌などから思い描いていた日本の福祉施設の



ボール投げは苦手です。しかし、サポートをしていただくことによって、遠くまで投げられます

今回の体験を通じて「あなたに」と呼ぶことの出来る相手を頭に浮かべて責任のある行政を任じていきたいと深く思った。そう感じる機会を与えて下さった東京光の家の職員・園生の皆様に心から感謝したい。

現状と、実際に体験してみても抱いた感想はだいぶ異なっていた。やはり人間同士の触れ合いに勝る方法はないと改めて気づかされた。献身的な職員の方々が一一人の園生の方々のニーズにきめ細かに対応することによって、光の家はさわやかで清々しく、何よりも人としての温かみを感じ取れる場所であったと思う。

「百聞は一見にしかず」私は今回の研修を通して体験学習の大切さを改めて感じました。

第五回 障害者スポーツ大会

去る六月五日土曜日、光の家
の園生九八名が世田谷区の駒沢
オリンピック競技場で開催され
た東京都障害者スポーツ大会に
参加しました。天気は快晴。絶
好のスポーツ大会日和となりま
した。五〇〇m走を約三〇分
間走り続け金メダルを取った男



1500m走、メダルを目指して一斉にスタート

子園生、ソフトボール投げで約
一七mを投げ、都大会記録を更
新した女子園生など、四月中旬
から各々が毎日少しずつ練習を
重ね、当日は全員が自分の持て
る力を最大限に発揮することが
できました。その結果、光の家
全体で八〇個ものメダルを獲得
し、みんな満足したようです。
力を出し切り笑顔で喜ぶ園生の
姿が嬉しく、また怪我すること
なく皆無事に過ごせたことに感
謝した一日となりました。

寄付者名簿

- 平成二六年四月一六日
七月一五日
- 公益信託東京日本橋ライオンズクラブ 二六本
 - 立川福祉基金様
 - コンテンサーマイククロアソ 二一本
 - パソコン
 - 笠井久美子様 タペストリー 一枚
 - 米倉清治様 米 九〇kg
 - 錦戸将斗様 オレンジ 一〇〇kg
 - 市川久子様 小松菜 三〇〇kg
 - 城山鶏園 加藤季文様 鶏卵 一八〇個
 - 角田シズ様 そら豆 一四四個
 - 小西悠増様 パナナ 一四五本
 - 松田明子様 八〇円切手 五〇枚
 - 長井成之様 アップライトピアノ一台
 - 吉川絢子様 缶ジュース 九〇本
 - 佐藤四郎様 懐中電灯 一台
 - 鯉登仁様 洗濯機 一冊
 - 弘誓社様 点字図書 四冊
 - 土屋正和様 さくらんぼ 五kg
 - 牧察雄様 さくらんぼ 六kg
 - 山畑力様 ミネ子様 四五個
 - パシオンフルーツ 四五個
 - 桐生修行様 黒砂糖 六kg
 - 株式会社恒産様 プラトマト 四〇〇個
 - 株式会社恒産様 小型洗濯機 一台
 - 井上和子様 記念切手 五万円
 - 活き活き亭様 ワカメ 三万円
 - 綾木潔様 スイカ 二個
 - 比嘉裕子様 パイナップル 一五個
 - 石川雅也様 郵便葉書 二〇〇枚
 - 吉本商事(株)様 パナナ 九〇本

正秋バンド 埼玉公演

五月一五日にさいたま市(浦
和)にある埼玉会館にて「愛の
サウンドフェスティバル」埼玉
玉」で正秋バンドは演奏会をし
てきました。



司会の高田敏江さんと息もピッタリの正秋さん

いる団体で、平成六年にも正秋
バンドを招待していただいでい
ます。
高田敏江さんの司会で「チャ
ンピオン」が勢いよく始まり、
演奏は全部で八曲。アンコール
は「世界にひとつだけの花」で
締めくくりました。
曲の演奏をしているメンバー
の表情はいつも真剣です。しか
し、正秋さんが会場から民謡の
リクエストを受けて歌うときだ
けは違います。ひとつの民謡で
も地方によって歌い方が違う
ことなど、解説の内容にもい
つも感心させられますが、な
んといっても、民謡を歌って
いる正秋さんの顔が本当に楽
しそうです。その顔を見るだ
けで正秋さんが民謡好きとい
うことが皆さんにも伝わった
ことでしょう。

普段、一緒にいる私たちも
そう感じるぐらいですから…。
(サウンドトレーニンク
山本誠太郎)

UFUFU (うふう)

前号で掲載したミュージカル
「スター誕生」。(社)日本音楽事
業者協会の会報五月号「UFUFU」
にその特集が組まれました。
観賞された五五名の芸能関
係者の方と一緒に、正秋バンド
のメンバーが寄稿した感想も掲
載されました。

○「スター誕生」にご招待頂き、
ありがとうございました。多く
の皆さんが「UFUFU」にその特集が組まれました。
観賞された五五名の芸能関
係者の方と一緒に、正秋バンド
のメンバーが寄稿した感想も掲
載されました。

の皆様は感動をよんだミュージ
カルでした。僕は「望郷じよん
がら」と「帰ろかな」が印象に
残りました。後半のステージで
は、津軽三味線と時代劇がマツ
チして、まるで一大スペクタク
ルの感動でした。(高橋正秋)
○ミュージカルは滅多に聴くこ
とがないので楽しかったし、面
白かったので良かったです。中
でも津軽三味線でやった歌謡曲
と、それに加えた演歌やラップ
などがまた妙に合っていて面白
いなあと感じました。楽しい時
間を過ごすことが出来て良かつ
たです。(千葉利彦)
○私は歌とミュージカルを聴
き、とても感動しました。一人
一人のセリフのところも、悲し
いところや楽しいところがハッ
キリと出ていました。歌もよく
聴こえました。特に一年間練習
したという津軽三味線の演奏が
良かったです。やはり音楽は心
だなあと感じました。(渡辺賢史)



6/15 新国園ハイキング
井の頭公園でエサを食べる鯉の様子
に耳を傾ける



7/10 新撰組フェスタ in 日野
日野万願寺メイン会場にてまつり、
津軽平野等を正秋バンドが演奏



手芸講師の笠井先生からいただいた
馬の親子のタペストリー 愛